

栄村総合振興計画（素々案）に対して寄せられた
審議会委員の意見等と村の考え方について

募集期間：令和3年7月7日（水）～7月31日（土）

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
全体	（K P I）村民はなんのことかわからないのではない か？ 分かるように提示願います。	重要業績評価指数（K P I）という表記を成果指標に 変更しました。
P3 将来像（村の目標）	将来像のテーマを簡潔にしたらどうか 「一人一人が生き生きと暮らす村」 老若男女を問わず，誰もが安心して暮らせ，健康で仲 睦まじく交わることができ，（14 p 健康福祉 25p生 活安全 19 p 社会教育），やりたいことがやれて（自 己実現）村を見直す村を愛する心がもてる。（5 p 将来 像のテーマ）	村の思いを出来るだけ具体的に伝えるために掲げた将 来像テーマであることから、現状のままのテーマとした い考えです。
P8 振興計画における 人口目標	合計特殊出生率とは？・・・わかりやすく説明した方が 良いと思います。	〔合計特殊出生率〕は分かりにくいことから、年少人 口数（0-15歳以下）に変更しました。

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p style="text-align: center;">P8 振興計画における 人口目標</p>	<p>まず、栄村が目指す姿とは「廃村」「合併」などではなく、「存続」、そして「繁栄」であると思います。</p> <p>その前提に立った時に、2045年に目標として掲げている人口1000人という環境は、村として成立するのか疑問になります。</p> <p>存続には、どれだけの人口が必要なのかを十分に検討しての数値なのでしょうか。</p> <p>そもそも、目標としてしている数値が村の存続を為さないのであれば、目標とする意味がないのではないのでしょうか。</p> <p>栄村は集落の連合体ですので、各集落の維持に必要な条件を検討し、それらを積み重ねることにより存続の条件が見えてくるものであると考えます。</p> <p>他の自治体の人口や統計的な数値を照らし合わせても、現実的な数値にはならないと思います。</p> <p>もちろん人口だけで村としての機能を存続をさせられるかを計れるものではないと思いますが、まずは現状を維持することを目標とすべきではないのでしょうか。</p> <p>令和8年の目標人口を1500人とするのではなく、現在の人口をキープすること、そしてそれを維持するための具体的対策案を検討することが急務であると考えます。</p>	<p>・現在、県内でも1,000人以下の村は6団体あり、村の存続を為さないということではありません。</p> <p>高齢化率が50%を超える当村において、昨年お亡くなりになる方が49人、出生数は6人で、自然動態が△43人という状況です。高齢者が多いため自然減が多い現状です。</p> <p>人口減少数を減らすため、あらゆる施策に取り組み、人口を維持することが急務となっています。</p> <p>ご指摘のとおり、現在の人口を維持するくらいの目標を掲げ取り組む事が必要と考えますが、現在の人口を維持するためには年14組の移住（転入）が必要であるとの推計結果であり、大変困難な状況です。年3組の移住者を達成することにより、令和27年の人口構成割合は生産年齢人口と高齢者人口の割合がほぼ1対1となる推計結果となっています。上記のことから年3組移住と出生率2.16を目指すことは可能であり、令和8年の1,500人という目標人口は妥当と考えます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P10 基本構想 分野別方向性 1活力あふれる村づくり</p>	<p>自然豊かな環境で田舎暮らしを求める人たちが住んでみたくなる魅力ある村づくりを進めます。</p> <p>魅力的ある村とはどういう村か</p> <p>今残る豊かな自然環境・景観情景は農・林業を中心としたここに暮らす人々がつくりだしてきた。きれいに畔を刈り農道を整備し美しい風景を今も守っている。しかし今、耕作放棄地や放置された山林などが増え、危険をはらんだものになっている。</p>	

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
	<p>自然環境</p> <p>自然に従属していることが前近代的で古い考えと思われる。今こそ価値あることであると見直すべきで、むしろ最先端であることに気づいた人、特に若者はどんどん農に向かっている現実がある。現に有機農業先進地には着実に若者が移住している。</p> <p>公共の場所や道路脇に有害除草剤等が撒かれている村は魅力的ではないと考えます。</p> <p>栄村においては、目先の利益に惑わされることのない大きなビジョンを持ち共有しあい、自然環境に配慮した暮らしを取り戻すことが肝心。</p> <p>文化活動を肝に将来にわたって安全な食べ物を生産できる基盤づくり。農的暮らしのすばらしさを実感し発信すること。</p> <p>お金に換算できない大いなる幸福の中で人生を全うできる場所 栄村を目指す。</p> <p>危機感はいらない！常にわくわく感でいられる村の雰囲気づくりが一番重要。</p> <p>栄村の村民憲章、特に最初の1、の文章『自然を愛し、環境を整え、美しい村をつくります。』に村民の意識を。</p> <p>自ずと期待する効果に向かっていくと思われる。</p>	<p>第2部第1章「第4節 自然保護と景観」の【現状と課題】において意見の一部を反映させていただきます。同第2章第1節「1 農業」の【施策の方針】において、有機農業への支援と、「第2節 林業」【施策の方針】において、森林整備の推進について記載し、取り組んでいきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P15～ 人口対策と産業振興</p>	<p>栄村は、仕事を探す上でも勤務地が遠く、冬になると雪の影響で通勤時間もかなり違ってきます。そんな中、住まいを近隣に移す方もいらっしゃると思います。そこで、やはり対策に挙げられている企業誘致が出来ればと思います。</p> <p>地域おこし協力隊の方の中でも、このままこの村に住みたいと思って下さっている方がおられるので、その方達の意見を集めて、この村の魅力を発信していくのも良いかと思います。</p> <p>そして人を呼ぶには、住宅が必要だという意見も聞きました。空き家の活用などそちらの計画も進めて頂きたいと思います。</p> <p>スキー場では、冬場はもちろんですが、夏場でも親子で楽しめる施設などは難しいでしょうが、出来たら良いなと思います。マレットゴルフ場は若者も活用できるものなので、整備して頂けたら親子連れ又はお年寄りと一緒に楽しめるのではないのでしょうか。</p>	<p>第2部第3章第3節「2 創業支援」において、民間企業と協力し企業誘致や、雇用の創出、個人事業の起業などに取り組んでいきます。</p> <p>地域おこし協力隊も活動の一つとして、SNSを利用して村の情報を発信していますが、より多くの人に発信し、栄村の魅力を伝えていく事が必要だと考えています。</p> <p>第2部第1章第1節「2 住宅対策」において、空き家の活用及び村営住宅の整備を行い、住居の確保を図っていきます。</p> <p>第2部第3章第4節「2 スキー場」において、マレットゴルフ場を含め、オフシーズンの活用を検討します。</p>
<p>P 15 移住・定住の促進</p>	<p>村から一度出た人たちが帰って来れる村づくり対策を考えてほしい</p>	<p>第2部第1章第1節「1 移住・定住の促進」において、一度村から離れた人のUターン対策について記載し取り組んでいきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P 15 人口対策</p>	<p>まず、我が家 我が村の他へ出ている若い衆（息子・娘）に着目 彼らが村にカムバック・Uターンできるような働きかけ（教育・受け入れ体制整備）をしていく。働きかけがなくても自ら帰郷する子どもたちでいてほしいが・・・難しいのが現実。</p> <p><教育></p> <p>ふるさとの人との関わり・ふるさとの自然環境・ふるさとの行事，文化・ふるさとの遊び・ふるさとの味・先人の努力などふるさとの良さを幼い頃から体験を通して感じている子は，必ずや村に戻ってくると期待している。家庭教育で 学校教育で 社会教育で連携をとって，子どもたちを見つめていく育てていく体制を強化していくことが急務だと思う。</p>	<p>第2部第1章第1節「1 移住・定住の促進」において、一度村から離れた子どもたちのUターン対策について記載し取り組んでいきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
	<p>昔は、長男・長女はあととり教育・親を助ける教育がなされていた。家で必要とされていた。</p> <p>一旦は都会に出ても村に戻って、家を継ぐ、村に生きることが当然なことと考えていた若者たちだったように思う。時代と共に社会も思考も変化し「こんな苦労はさせたくない」という親心も手伝ってか、雪の少ないところへ、また就きたい職業のために大学や専門学校などお金をかけて取得した免許や資格・技術を生かせるところへ（村には即取得した免許や資格・技術を生かせるところがほとんどない）行ってしまって若者の流出に歯止めがかからない状況が現実。</p> <p>そんな中でも、栄村に残って栄村のために働きたいという若者がいたら、1ターン以上に優遇されたい。栄村に残って栄村のために働きたくなるような魅力ある栄村(もの・人・事)でありたい。</p>	<p>今回の計画策定に当たり、人口対策が最重要課題ととらえ、第1章第1節に人口対策を掲げています。また、全ての施策項目に取り組む事により「若者の定住拡大で持続可能な村を実現」を目指しています。</p> <p>一度村から離れた子どもたちのUターン対策を含め人口対策に力を入れて取り組んでいく考えです。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
	<p><受け入れ体制整備></p> <p>① 就職対策 働くところの確保 栄村らしい魅力ある職場の創立 トマトジュース ジューカレー デルモンテトマトの栄工場の誘致 切下駄, つぐら 和紙 (伝統工芸の後継者が・・・) ハンドメイドカンパニー設立</p> <p>② 住宅対策 快適に住める住宅の確保・補助金</p> <p>③ 結婚対策 昔あった青年団活動 生き生きカレッジなど ここで結ばれた方々が何組かあって今やジジババ50代から60代の世代になっている。 社協で力をいれている婚活事業はどのくらい成果が出ているのか 出ていなかったら別の方法を考えなくては 津南町のスポーツクラブとの交流を膨らめることができたらその支援策を練って行けたらと思う。→19P社会教育・生涯教育</p>	<p>①第2部第3章第3節「2 創業支援」において、民間企業と協力し企業誘致や、雇用の創出、個人事業の起業などに取り組んでいきます。</p> <p>②第2部第1章第1節「2 住宅対策」において、空き家の活用及び村営住宅の整備を行い、住居の確保を図っていきます。</p> <p>③結婚対策については、個人のプライベートな面がありますが、結婚したい人に対して村は積極的に支援していきます。</p>
<p>P16 3 住宅対策</p>	<p>・若者住宅の確保について 一戸建住宅を建てることで若者が定着するのではないか。</p> <p>・空家対策について かなりの空家が多くなってきています。なかには、屋根が落ちている家も見受けられます。景観上宜しくないのではないのでしょうか。区長さんをお願いして、調査してほしい。</p> <p>・古民家で、柱・木戸を探している大工さんがいます。</p>	<p>・若者向けの住宅確保については、今後具体策を検討していきます。</p> <p>・村内の空き家の状況については、2年に1度の実態調査により把握しています。その結果を踏まえ、所有者等に対し空き家を適正に管理するようお願いしていきます。</p> <p>・古民家の活用については、役場へ相談していただければ、対応を検討させていただきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 16 住宅対策	空き家対策について 小赤沢地区も空き家がたくさんあります。結構いい家もあるのですが、このまま朽ち果てるのを見ているのは忍びない限りです。何か有効な対策があればと思います。	状態の良い空き家の有効活用を図るため、引き続き、所有者に対して空き家バンクへの登録をお願いしていきます。
P 16 結婚対策	民間企業（びゅう・JTB）等を利用して、季節に合ったイベントの開催(山菜取りツアー・お祭りツアー（集落）等の企画。	ご意見いただきましたとおり、第2部第1章第1節「3 結婚支援」において、村の暮らし体験企画やレクリエーション企画について支援し出会いの場を充実させていく考えです。
P 17 結婚対策	結婚した夫婦への祝い金は具体的な金額を出した方が現実味があって良いと思います。	今後の施策によっては見直す事も考えられる事から具体的金額は控えたいと思います。
P 17～ 第2章 農林畜産業 第3章 商工・観光業	農業・林業・畜産業・商業・温泉・宿泊業についても、後継者が確保できなくて存続が危うくなってきている現実に目を背けられない。研修します。めざします。進めますの展開案をより分かりやすく具体的に表記されたい。→全ての面で後継者へのバトンの引き渡しに困難になってきている栄村を感じています。そこが振興計画の要でもあり、課題かと思えます。	少子高齢化による担て不足は、現実であり重要な課題と理解しております。具体的にどんな対策を行い、実施するかについては、実施計画や予算編成により検討していきますが、農業については、営農組織の拡充や集落を超えた営農体制の構築に向けて検討を始めています。行政が取り組む事と事業者等が取り組む事をお互いがしっかり認識し、関係者が協力して取り組んでいきます。
P 18 農業	電気柵の補助などについて 私の畑も毎年猿に荒らされます。遊び程度の畑作ですが電気柵にしようかどうか迷っています。補助制度は助かります。	第2部第3章第1節「1 農業」、「第2節 林業」において施策の方針を記載し、電気柵の補助や専門員の見回り等により鳥獣被害の防止に努めていきます。

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 18 林業	<p>林業整備のために生産組合の団地化を進めてほしい。</p> <p>木材は植樹から伐採、利用まで数十年必要で、経営には長期的な視点が必要。</p> <p>木材利用の見直しは脱炭素につながり、特に地元木材は輸送エネルギーも節約できる。</p> <p>森林の果たす役割は、水害の防止を含めた保水や気候の安定、生態系の維持、安らぎを生み出すなど多岐にわたる。</p>	<p>森林経営計画につきましては、集落等の要望や森林組合の提案により、希望する地域は積極的に団地化を進めているところです。計画書の提出があった地域（団地）については、村で認定をしてきています。木材販売においても計画地と計画地域外では販売単価が変わることもあり、効率的な森林整備を進めるためにも、団地化した上で森林施業を今後も引き続き進めていきます。</p>
P 19 1 商業	<ul style="list-style-type: none"> ・(有)栄村物産センターとかたくりの統合野菜等がダブって販売されている。 地元の食材を使用した新たなご当地グルメの開発 例・根曲がり竹の子を使用した、みそ汁の缶詰の開発等 デパートでの販売等販路を拡大する。 ・空いている施設の利用について 道の駅の2階・森宮野原駅の2階の有効活用 ・チラシを作成し、JR東京駅・JR上野駅等主要駅に出向き駅舎での配布活動を行い誘客に努める。 	<p>物産センターと農産物直売所の運営については、体制整備を進めていきます。</p> <p>第2部第3章第4節観光業に、新たに「3道の駅」を設け、施策の方針を記載しています。</p> <p>道の駅は村内で最も集客数が多い施設であることから、観光拠点施設として施設の充実を図っていきたい考えです。</p>
P 19 商業	<p>村外の大型店への流出について</p> <p>これは栄村だけでなく全国的世界的な事です。地域の特産物などで勝負していくしか活路は見いだせないのでは？</p>	<p>村内消費の活性化等に取り組むとともに、村の特産物等をふるさと納税の返礼品とすることにより、村外からの消費需要の拡大を図りたいと考えています。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 20 温泉・宿泊業	温泉・宿泊業の施策について学習や研修を行うようですが、計画や効果などなどについて、村民への報告が必要と思います。	各種の取り組みについて、村民に対しても広報等により周知したいと考えております。
P 21 誘客・宣伝	<p>コロナ禍で、誘客ができない、イベントもできない、また村から外へ出たの誘客も困難な中で、唯一 リモートとという手段に訴えたい。農作物の販売もネットで行えたら。</p> <p>月1～2回おいこつに乗って、田植え唄やのよさ節など披露しながら栄村のPRをしてきた田植え唄愛好会、昨年は1回乗車のみ。今年度は駅の駐車場で非接触型で踊って、栄村を訪れた方を歓迎して宣伝している。このチャンスに駅前にテントを張って、おもてなしと物資販売ができる。観光協会と商工会の連携プレーで、村あげでの頑張りどころ</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の収束後の誘客活動に取り組んでいますが、より一層関係機関等と連携して、誘客につなげていきます。</p>
P 21 誘客・宣伝	ホームページ。特に観光などについては、イラストや風景など楽しそうな感じにしてはどうでしょうか。	ご意見を参考に、情報発信についてより多くの人に見てもらえるように強化を図っていきます。
P 22 起業の促進と 企業誘致	<p>大変難しい問題であります。現時点では、栄村で木質バイオマス発電が計画されています。年間80,000 tの木質チップが必要になります。</p> <p>この企業の計画では、20人～30人の雇用が見込まれています。</p>	木質バイオマス発電所稼働に伴う雇用と人口増に大きな期待をしています。事業の推進について、村も積極的に支援していきます。
P 22 起業の促進と 企業誘致	若い人が起業できるように、アドバイザーを置いたり、補助制度を一緒に探したり。「民間だから勝手にやれ」ということではなく、村としても起業希望の若い人を応援・支援してほしい。	若者の起業について、一人でも多く起業できるように関係機関と協力して支援していきたい考えです。

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 22 起業の促進と 企業誘致	<p>起業の促進について</p> <p>若い方に栄村に住んでいただくには、雇用の場の確保が一番です。多くの方から起業していただいて活気のある栄村になってほしいです。</p>	<p>産業創造・企業誘致に努めるとともに、若者による小さなビジネスの起業についても支援していきます。</p>
P 22 再生可能エネルギー の利用	<p>小赤沢川の小水力発電はおもしろいかもしれません。実現がたのしみです。</p>	<p>小赤沢川の小水力発電事業は、現在、民間企業が事業化に向けて取り組んでいる状況です。</p>
P24～ 健康と福祉	<p>栄村は子どもたちへの支援は出来ている方だと思います。これからも、安心して子育てが出来る支援を続けて行ってもらえたらと思います。</p> <p>医療・介護に関しても素々案のとおりで良いかと思えます。</p>	<p>今後も関係機関と連携し、福祉対策の向上に取り組んでいきます。</p>
P24～ 健康と福祉	<p>医療・子ども福祉、高齢者・障がい者といった縦割りでは、栄村のような人口が少なく、高齢化が進んでる地域では、一人一人に必要なサービスは届かないと思います。高齢者や障がい者が社会参画しを發揮するには、それを支える若い人や行政・制度が必要です。誰かがやってくれる、ではなく村が中心になって、本気で取り組んでほしいと思います。</p> <p>高齢者が安心して居られる場所を作る事が「最後まで栄村で過ごしたい」という多くの村民の望みをかなえ、雇用を生む事になるのではないのでしょうか。</p>	<p>いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、地域の生活支援や見守り体制の整備、高齢者とその家族への支援体制づくり、機能強化に取り組んでいきます。</p> <p>また、高齢者が安心して暮らせるように、包括支援センターの保健師や介護支援専門員を中心に訪問活動を充実させ、きめ細かな支援に努めていきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P 24 子ども福祉と母子保健</p>	<p>安心して子どもを産んで、育てていける環境があれば若い方も住んでいけると思います。 3~4年前せっかく来てくれた子連れの子夫婦が去って行ってしまい大変残念でした。</p>	<p>第2部第4章「第1節 子どもが健やかに育つ環境」の施策の方針のとおり、安心して出産し子育てできる環境整備を進めていく考えです。</p>
<p>P 25 2 精神保健対策</p>	<p>精神医療体制について この近くには十日町の中条病院しかなく、ここがなくなってしまうと大変だと思えます。何とか体制の整備をしてほしいものです。</p>	<p>近隣市町村と連携して、医療提供体制づくりを推進していきます。</p>
<p>P 26 医療施設・医療体制の整備</p>	<p>秋山地区には毎週木曜に定期的に診療が行われています。ありがたい事です。ただ秋山地区の介護支援専門員さんが今年3月で退職され老人センターが無人になってしまって少し不安です。</p>	<p>これからも秋山診療所及び生きがいセンターの運営を継続し、健康増進と介護サービスの提供等に努めていきます。現在、診療所は毎週木曜日、生きがいセンターは毎週火曜日と金曜日にデイサービスを実施、隔週木曜日に開放日を実施しています。</p>
<p>P 27 高齢者福祉と社会参画の推進</p>	<p>小赤沢も老人クラブが解散となってしまいました。平均寿命も長くなっている現在、60歳で定年退職しても力を持って余している人が多いのでは？ そういう人材を活用できる制度があれば活気が戻るかも！</p>	<p>集落の活性化や地域づくり等において、高齢者のもっている力を発揮できる機会を提供できる体制づくりを進めていきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 28 障がい者（児）福祉	精神面での健康・・・家に引きこもっている方、発達に偏りが見られて周囲の方とコミュニケーションすることが不十分な方、大人の発達障害と思われる症状のある方、健常者から見ると異常行為と見られる行為が多い方など様々な方がいる栄村。小さい村だけど課題は大きい。保健師が訪問指導されていて大変ありがたい。村に住んでいる面々を掌握されて今後も精神面でのサポートを大事にされたい。どの方も村で生き生きと暮らせるために。	第2部第4章「第4節 精神保健対策」の施策の方針において、専門職による訪問や関係職種間の横断的な連携により、心の病の予防・深刻化の防止に努めていきます。また、啓発活動や必要な医療提供等に取り組んでいく考えです。
P 30 教育内容の充実	過日、栄村教育に関するアンケートがあったが、懇談会の如何によるが（8月21日に予定）村としての今後の方針にも触れた記述があってもいいのではないか	保育園から小学校、中学校へと途切れなく繋いでいくための保・小・中の連携と教育体制について研究していきます。
P 32 社会教育 ・生涯学習	スポーツや地域学習を通すというところでスポーツクラブでは、ジュニアの育成に力を入れていたが、大人もお年寄りも体を動かして楽しめる機会を設けたいという方向も大事にしていく方針を確認し合ったところです。	幅広い年齢層で楽しめるスポーツの普及とスポーツにおける異年齢交流を進めて行きます。
P 33 歴史と文化の保全 ・継承	小赤沢の保存民家にまつわる怖い話、おもしろい話など時とともに忘れ去られてしまいます。何とか残せないものでしょうか。	昔から言い伝いのあった民話をまとめた冊子を参考にしながら、冊子による取りまとめも検討します。
P34～ 生活基盤の整備	栄村での生活を考えるとやはり心配なのは雪なので、安心して生活できる除雪をして頂きたいと思います。	村でも対策を進めますが、除雪対策については、村民の皆さんの協力が不可欠です。 皆様のご協力をお願いします。

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 34 国・県道	<p>県道秋山郷森宮野原停線につきましては、冬期はちょっと無理があるかもしれませんが、せめて4/1～11/30くらいは「日出山を通過して役場には行けるな」という会話をしなくてすむように整備ができればと思います。</p>	<p>県道秋山郷森宮野原停線の整備については、引き続き県に要望していきます。</p>
P 35 第2節 公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・委託駅の管理について 飯山線で委託されている駅は、信濃浅野駅・替佐駅・白鳥駅・平滝駅・横倉駅・森宮野原駅の5駅です。 ・駅設備の冷暖房の状況ですが、時間で設定されています。 ・列車の運行状況ですが、長野支社（指令室）で管理されています。 ・列車の遅れ・運休・代行輸送等は、駅の放送で流れます。 ・現実に定期を購入する人は、学生のみではないか。購入先は、99%森宮野原駅ではないか。 ・冬季間のホーム・駅通路除雪ですが、JR長野支社から委託された業者が施工しています。 ・駅を委託されている人に管理料として、月どの位支払いをしているのですか。 ・勤務時間は、Am 時からPm 時までか。 	<p>切符の売り上げの約7割が森宮野原駅です。</p> <p>現在、森宮野原駅は(有)栄村物産センターに委託しており、委託料は1日8時間で月額225,000円程度です、その他の駅は個人への委託で、委託料は1日4時間で月額100,000円程度です。委託料の他切符の売上に応じて奨励金を支払っています。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P 35 公共交通</p>	<p>デマンドバスについてですが、以前は南越後さんのバスが、まったく空の状態で見ているのを見るにつけ、何とムダな事だろうと思ったものです。その点デマンドは賛成です。私自身デマンドを利用するのは年1回ですが、周りの人達の話聞く限りでは、前日までの予約というのが不便みたいです。予定がはっきりしている時はいいのですが、有事の際、せめて当日の朝電話したら午後一で乗れるようにしていただけたらもっと便利になるかもしれません。</p>	<p>秋山郷のデマンドバスの運行については、津南町や森宮交通（株）と協議し利便性が向上するように検討していきます。</p>
<p>P 36 克雪対策</p>	<p>私見ですが、小赤沢については道路除雪はよくやっけていただいていると思います。雪害救助員につきましても然りです。3年くらい前に津南町と合同で民生委員会をやった時、栄村の無料の除雪制度を聞いたある津南町の委員さんが一言「まるで別世界の話みたいだのー）。これ以上村からの公助は無理だと思えます。これから、ますます高齢化が進んでいきますので、極力「自助」でいける方は「自助」で行ってほしいと思えます。</p>	<p>人口減少による労働力の低下が懸念されますが、「自助、共助、公助」の力を合わせ、村民と行政が協力して対策を進めます。</p>
<p>P 37 通信設備</p>	<p>秋山地区で私以上の年齢（67歳以上）の方で、インターネットを利用している人は大変少ないと思えます。使いこなせないです。今回のコロナワクチンでの役場の方々の対応はniceplayでした。 若い方々、民宿業の方々などにとりましては、通信整備に関する施策は重要だと思えます。</p>	<p>国のデジタル庁の設立など、これから一層デジタル化が加速していくことから、村民のデジタル活用の支援に努めていきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P 37 通信設備	その場に行けない方が家に居ながらにして、テレビで村の様子分かるインターネット栄村の設立を考えていただきたい。村にどんな話題があっても共有できる。その場に行かれない高齢者に優しい栄村であってほしい。	ケーブルテレビ放送については、今までにも検討してきた経過があり、導入経費及び維持経費が多額であることから導入に至っていない状況です。必要性は高いと認識していますので、引き続き検討していきます。
P 39 第6節 環境衛生	ゴミの不法投棄につきましても、山に行くたびに所々に空き缶、ビニール袋などが捨てられています。栄村に限ったことではありませんが、個人個人の道徳観念が問われるところです。	村でも啓発用看板の設置やパトロールの実施により対策を行っていく考えです。
P 44～ 集落支援と行政	これからは人口減少などの点から考えても近隣・広域の連携で色々な事に取り組んで行く事が必要になってくるのかと思いました。	行政サービス向上のためにも、関係市町村と連携して推進体制を強化していきます。
P 44 集落支援と 住民参加	小赤沢はまだましですが、上の原、和山地区の集落維持は大変みたいです。この課題も難しいですが何とかしなければなりません。有効な集落支援策を講ずる必要があります。	基本的には、地域が自分たちの地域をこれからどうするのかを考え行動していく事が大切であると考えます。しかし高齢化等により自分たちで考え行動することが困難な地域について、集落連携による維持など地域と行政と一緒に考え取り組んでいきたい考えです。

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P 44 集落支援と 住民参加</p>	<p>・村からの地域支援者について 地域担当者が決まっていますが、区の総会位しか出席をしない。 区の役員会には、積極的に参加して要望等意見が多くだされますので区長が役場に出向いて説明するのでは無く担当者の任務をはたしてほしい。（コロナ禍で大変ですが）</p>	<p>今年度から、集落支援担当職員制度を見直しました。区からの意見要望等の窓口を総務課で受けることとしています。なにかありましたら、総務課までご連絡願います。</p>
<p>事業計画全体</p>	<p>事業の優先順位や力を5年間で力を入れる事業を明確にしてほしい</p>	<p>後期5年間で特に力を入れて取組む事業について上段に記載し印を記載しました。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>その他</p>	<p>・しなのエンタープライズの関連会社に、長鉄開発株式会社があります。</p> <p>長鉄開発株式会社に山菜（わらび・たけのこ・こごみ）加工したものの原木なめこを年間をとおして納品している人が栄村にいます。長野駅新幹線ホームの売店で、そば・うどん店で使用するものです。評判が良くて商品が足りなくて困っているのが現状です。</p> <p>加工組合をつくって販売経路を拡大してはどうか。</p> <p>ほかに、栄村トマトジュースの販売をしてはどうか。</p> <p>（JR駅自動販売機等を利用して）</p> <p>・各区の区長名称板の作成について</p> <p>ポストを見ても、名字さえ表示されていない自宅が多い。配布物が一番困ります。看板を「何々区区長」で作成し持ち回りで接置するか(個人情報)で無理なら「何々区見回り当番」の看板を作成し、区で持ち回りにしたらどうか。</p>	<p>農産物の加工販売やトマトジュースの販売については、頂いたご意見を参考に今後検討させていただきます。</p> <p>各区長の名称板について、津南町では行っているように見受けられます。当村においては今後検討させていただきます。</p>